

拔萃

○露國ニ於ケル新運河ノ設計

會テ記載セシ如ク露國ニ於テハボルチツク海ト黑海トヲ

連絡スヘキ一大運河開鑿ノ計畫アリ其設計ニ依レハ此運河ハボルチツク海ニ近キリーカト
 黒海ニ近キドネーブル河上ノヘルソントヲ連絡スルモノニシテ長サ一千呎幅水面ニ於テ二
 百十三呎水底ニ於テ百十五呎深サ二十八呎ノ豫定ナルガクムニツツ在動北米合衆國領事ノ
 最近ノ報告ニヨレハ世界ノ最大戰艦ヲモ通過セシメ得ヘント云フ該運河ハリーガヨリド
 ウ井ーナ河ニ入り夫ヨリヂナブルグヨリレペーリニ抵リベレジナ及ドチーブルヲ經テヘル
 ソンニ達スヘシ尙ホ諸河沿岸ノ地方ニハ縱横ニ運河ヲ開鑿シ以テ大ニ附近地方ノ開發ヲ助
 成スヘキ計畫アリ從來船舶ノ大西洋地中海及マルモラ海ヲ航過スルモノハ十二日以上ヲ費
 セシモ此運河ニ頼ルトキハ六日ヲモ費サ、ルヘシ而シテ運河ノ重要ナル諸點ニハ港灣及小
 灣ヲ設ケ晝夜トモ一時間ニ約ソ七哩ノ速力ヲ以テ船舶ノ通航ヲ許スヘキ豫定ナリ工事費ハ
 約二千万磅ノ見積リナレトモ實際ハ之ヨリ迫ニ多額ニ上ルヘシ又工事ハ五年間ニ竣功セシ
 ムヘキ見込ナリト云フ(去十月十五日ブラクチカルインジンニア)

○大ナル浮船渠

去八月二十八日英國ウワールセンドスワンハンター會社ニ於テ進水シタ

ル鋼製浮船渠ハ世界ニ於ケル最大ノ浮船渠ナルヘシ該船渠ハ西班牙政府殖民局ノ注文ニ係
 ルモノニシテ西印度キューバ島バグアナ港ニ設置スルモノナリ同國政府ハ曩キニキューバ
 島叛乱アリシ以來全島方面ニ多數ノ軍艦ヲ常備スルコトトナリシヲ以テ從テ船渠ノ必要ヲ

認メ英國及大陸著名ノ造船所ヨリ入札ヲ徵シ遂ニハンター社ニ其製造ヲ命シタリ

該船渠ハ倫敦ウエストミンスタークラーク及スタンフィールド社ノ設計ニ成リ其長四百五十呎最大幅百九呎内法幅八十二呎側壁高四十六呎九吋渠口深二十七呎六吋吃水四十二呎六吋水面上高四呎二吋ニシテ左ノ三部ヨリ成立セリ

一、函船即所要ノ浮泛力ヲ有スル船渠ノ本体

二、側壁即水面下ニ函船ヲ沈下セムルノ用ニ供シ且所要ノ穩力ヲ有スルモノ

三、移動スヘキ扉船即船渠ノ浮泛力ヲ増加スルノ必要アルトキニノミ用フルモノ

函船ハ其數五個ニシテ各函船ノ幅八十七呎十一吋半ナリ中央三個ハ長方形ニシテ長各七十五呎前後二個ハ其一端ハ尖頭ヲ成シ長各百八呎四吋ニシテ各函船ノ間隔ハ二呎ナリ函船ハ兩側壁ノ間ニ挾マリテ側壁トハ自在接合ヲ以テ聯結セララル

船渠全体ハ總テ軟鋼板ヲ以テ製造セラレ函船ハ四個側壁ハ五個ノ水密區畫ニ分タレ各區畫ヨリ排水シ得ル様電氣力動唧筒ヲ裝置セリ唧筒機ハ離心動唧筒ニシテ側壁内ニ設置セラレ二時間半ヲ以テ一万噸ノ船舶ヲ浮上ケ得ルノ力アリ此唧筒モ亦電氣力ヲ以テ作動セシム又船渠ノ内外共ニ電燈ヲ設ケタリ電氣機械ハニューカッスルノスコット及マウンテン社ノ製造ニ係ルモノナリ

甲鐵艦ノ如キ船丈短カク重量大ナルモノヲ入渠セシムルカ爲メ扉船ノ設ケアリテ扉船間ノ距離ハ最長三百八十三呎最短三百五十呎迄隨意ニ加減シ得ヘキ裝置ヲ設ケアリ此扉船ヲ用フルトキハ一万二千噸ノ船舶ヲ入渠セシメ得ヘシ又此船渠ニ於ケル特殊ノ構造ハ船渠ノ各

部分即チ函船側壁扉船ヲ互ニ入渠修理セシメ得ルノ裝置ヲナセルコト之ナリ

該船渠ハ昨年十二月契約ヲ締結シ本年二月二十七日工ヲ起シ同八月廿八日進水セルモノナ

リ

該船渠ハ一大流船ヲ以テ曳カシメキユーバ嶋へ廻送セリ而シテ航海準備トシテ船渠側壁内ノ機關室甲板上ニ船長機關長其他乗組員室ヲ設ケ桁三本ヲ有スル帆船一本及信號用橋一本ヲ取付ケ流力操舵機流力揚錨器錨鎖其他ノ器具ヲ完備セリ

建造工事監督主任ハ西班牙政府ノ任命シタル機關士 Enrique Gadea(巴黎ノ人助役 A.T. Lynn(ニコ一カッスルノ人)及設計者 Lionel Clarkノ三氏ナリ (マリーンインジニア)

右二件 T、N、

○裏海及波斯灣間ニ鐵道建築ノ計畫 裏海ト波斯灣間ニ鐵道ヲ敷設シテ此兩地ヲ連絡ス

ルコトハ今日調査最中ニシテ此線路ハ工事上ノ困難ヲ視ザレバ此鐵道ニシテ敷設セラル、片ハ波斯ハ露國勢力ノ下ニ在ルベケレバ此計畫ハ波斯王ノ承諾スル所ナルベキヤ是レ一ノ疑問ナリ次ニ此線路ノ竣工シタル曉ニハ露國軍隊ハ一週間ノ短時日ヲ以テモスコイヨリ印度洋ニ達シ得ベキヲ以テ英國ハ此鐵道ノ建築ヲ喜ブモノニ非ザルナリ(サイエンチフイツク、アメリカン)

○亞弗利加ヨリ印度ニ達スル鐵道 英國技藝會ノ集會ニ於テ朗讀セラレタル報文ニヨレ

バブラツク氏ハ亞弗利加ノアレキサンドリアヨリアグラ及ボムベイニ達スル鐵道ヲ築造セント計畫セリ而シテ其線路中ポルト、セイドヨリクラチ迄ノ距離ハ二千四百哩ニシテ上亞